



松本保健所管内で販売されていた「苦味の強いユウガオ」による食中毒が発生しました

松本保健所管内で販売されていた「苦味の強いユウガオ」を食べたことによる食中毒が発生しました。

患者は、農産物販売所でユウガオを購入し、自宅で食べた1グループ2名で、食べる際に強い苦味を感じたとのことでした。

なお、患者は全員快方に向かっています。

【事件の探知】

令和2年7月10日午前9時30分頃、大町保健所に医療機関から「7月9日に苦みの強いユウガオを調理して食べ、体調不良を呈した患者を診察し、食中毒が疑われる。」旨の連絡がありました。

【松本保健所による調査結果概要】

- 患者は7月9日に農産物販売所で当該ユウガオを購入し、同日午後0時30分に調理して食べたところ、強い苦みを感じ、その約30分後から嘔吐、下痢などの症状を呈しました。
- 患者の症状は、ユウガオの苦味成分（ククルビタシン類）による症状と一致していました。
- 患者を診察した医師から、食中毒の届出がありました。
- これらのことから、松本保健所は「苦味の強いユウガオ」を原因とする食中毒と断定しました。

担当保健所	松本保健所	
患者関係	発症日時	7月9日 午後1時頃から
	患者症状	嘔吐、下痢 など
	患者所在地	北安曇郡
	患者数 及び喫食者数	患者総数／喫食者数 : 2名／2名 (患者内訳) 男性: 1名 (年齢: 70歳代) 女性: 1名 (年齢: 70歳代)
	入院患者数	2名 (退院済み)
	医療機関受診者数	2名 (受診医療機関数 1か所)
原因食品	ユウガオの炒め物 (推定)	
病因物質	ククルビタシン類 (推定)	

- ・ ユウガオに苦みを感じた場合は、絶対に食べないで廃棄してください。
- ・ 苦みのあるユウガオを食べて体調不良となった場合は、医療機関を受診してください。

==ククルビタシン類による食中毒==

[特 徴]

- ククルビタシン類は、観賞用のウリ科植物(ヒョウタンなど)に含まれる苦味成分です。
- ごくまれに、食用のウリ科植物(ユウガオなど)に高濃度のククルビタシン類が含まれている場合があります。
- 過去にヒョウタンの誤食や苦味の強いユウガオによる食中毒が発生しています。

[症 状]

- 食後数分～数時間で唇のしびれ、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢を起こします。

[予防方法]

- 食べてみて、**強い苦味がある場合は、食べないで廃棄してください。**
(※ゴーヤ(ニガウリ)の苦味成分はククルビタシン類とは別の物質です。)

[参考]

- 厚生労働省のホームページ ～自然毒のリスクプロファイル：高等植物：ユウガオ～
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000079844.html>
- 長野県のホームページ ～激しい苦みのあるウリ科植物にご注意ください～
<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/kenko/shokuhin/shokuchudoku/yugao.html>

- 長野県内（長野市含む）における食中毒発生状況（本件含む）

令和2年度 (うち 長野市)	1件 (0件)	2名 (0名)
令和元年度 (うち 長野市)	16件 (2件)	811名 (3名)

- 長野県内における「苦みのあるユウガオ」による食中毒発生状況

令和元年度	2件	7名
-------	----	----

確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン 2.0（長野県総合5か年計画）推進中

松本保健所 食品・生活衛生課 食品衛生係
(次長)田村 浩志 (課長)西村 孝 (担当)園田 春美
電話:0263-40-1942(直通)
0263-47-7800(内線 2150)
FAX:0263-47-9293
E-mail matsuhoh-shokusei@pref.nagano.lg.jp

健康福祉部 食品・生活衛生課 食品衛生係
(課長)吉田 徹也 (担当)福井 秀樹 小山 富美香
電話:026-235-7155(直通)
026-232-0111(内線 2661)
FAX:026-232-7288
E-mail shokusei@pref.nagano.lg.jp